

平成16年8月3日

少数台数のリコール届出の公表について（平成16年7月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成16年7月は下記のとおり18件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：日通商事株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月1日	1129	車名：日通 型式：NT20A003等 通称名：-	46	平成12年7月10日～ 平成16年3月3日
不具合の部位等	ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリュの熱処理が不適切なため、当該スクリュの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリュの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。			

2. 届出者：有限会社東田鉄工

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月1日	1130	車名：東田 型式：HTV240等 通称名：-	5	平成13年12月27日～ 平成16年6月4日
不具合の部位等	ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリュの熱処理が不適切なため、当該スクリュの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリュの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。			

3. 届出者：ユタカエンジニアリング株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月1日	1131	車名：組立 型式：組立 通称名：-	7	平成14年12月3日～ 平成16年3月19日
不具合の部位等	ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリュの熱処理が不適切なため、当該スクリュの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリュの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。			

4. 届出者：極東開発工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月1日	1133	車名：極東 型式：KTT280改等 通称名：-	7	平成15年4月25日～ 平成15年12月19日
不具合の部位等	ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリュの熱処理が不適切なため、当該スクリュの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリュの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。			

5. 届出者：日本液体輸送株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月1日	1134	車名：日液 型式：NT132等 通称名：-	2	平成13年10月31日～ 平成15年2月3日
不具合の部位等	ライニング隙間調整板等を固定しているセルフカッティングスクリュの熱処理が不適切なため、当該スクリュの強度が不足しているものがあり、そのまま使用を続けると、当該スクリュの頭部が折損することがある。そのため、ライニング隙間調整板が脱落するとともに、ブレーキドラムとブレーキライニングの隙間を自動的に調整することができなくなるおそれがある。			

6. 届出者：ポルシェジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
7月5日	外-1138	車名：ポルシェ 型式：GH-99679 通称名：911 GT3	14	平成15年10月13日
不具合の部位等	エンジンのインテークバルブとエキゾーストバルブに取り付けられているスプリングシートの硬度が不十分なため、長期間使用するとバルブスプリングとスプリングシートの接触部分が磨耗することがある。そのため、その状態でエンジンを高回転域で使用すると、バルブスプリングが折損して、最悪の場合、エンジンを損傷するおそれがある。			

7. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月8日	1125	車名：プジョー等 型式：不明 通称名：日野ポンチョ	71	平成14年3月15日～ 平成16年3月10日
不具合の部位等	主制動装置の前輪用配管に取り付けている配管干渉防止材の位置が不適切なため、ハンドル操作時に当該配管とフエンダが擦れるものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該配管が損傷して制動液が漏れ、ブレーキ警報が点灯するとともに前輪が制動不能となるおそれがある。 電気装置のバッテリーアース線の取り付け方法が不適切なため、バッテリーの充電が行われず、バッテリー上がりになるものがある。そのため、走行中にエンジンコンピュータが停止し、エンストするおそれがある。			

8. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月8日	1149	車名：トヨタ 型式：CBA-GRS180等 通称名：クラウン	8	平成16年5月26日
不具合の部位等	後輪ディスクブレーキのキャリパを固定する締付ボルトの座面の加工が不適切なため、急制動を繰り返す等の運転を行うと、当該ボルトがゆるむものがある。そのため、制動時に異音が発生し、最悪の場合、ボルトが外れてキャリパがリヤホイールの内側に接触し損傷するおそれがある。			

9. 届出者：三菱重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月15日	1124	車名：三菱 型式：KF4C等 通称名：三菱フォークリフト	34	平成14年12月18日～ 平成16年6月4日
不具合の部位等	フロントダブルタイヤのホイールナットの締付力が不足しているものがあり、走行中にホイールナットが緩むことがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、ホイールナットが脱落あるいはハブボルトが折損し、タイヤが脱落して走行不能に至るおそれがある。			

10. 届出者：株式会社共立

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月20日	1164	車名：共立 型式：SA-S55B等 通称名：共立スピードスプレーヤ SSV550F等	96	平成16年1月19日～ 平成16年5月21日
不具合の部位等	シフトフォークの加工が不適切なため、シフトレバーが2速の位置に十分に保持されないものがある。そのため、シフトレバーを2速の位置に操作しているにもかかわらず、走行中にシフトレバーが中立の位置となるおそれがある。			

11. 届出者：日本輸送機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月22日	1172	車名：ニチユ 型式：221AC等 通称名：トランサー	68	平成12年10月20日～ 平成16年7月5日
不具合の部位等	リヤアクスルのベアリング締付構造が不適切なため、ベアリングの締め付け力がバラツキ、不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ベアリングにガタが生じ、最悪の場合、操縦できなくなるおそれがある。			

12. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月22日	1175	車名：トヨタ 型式：CBA-ANE10G等 通称名：ウィッシュ等	86	平成16年6月23日～ 平成16年6月28日
不具合の部位等	無段変速機の内部にある変速制御用の油圧逃がし弁に加工が不適切なものがあるため、当該逃がし弁が開いたままとなり、油圧が上がらなくなることがある。そのため、駆動力の伝達が不十分となり、異音や振動が生じ、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。			

1 3 . 届出者：フォルクスワーゲングループジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月22日	外-1144	車 名：フォルクスワーゲン 型 式：GH-3BAMX等 通称名：VWパサートワゴン 2.8 V6等	75	平成15年10月1日～ 平成15年10月29日
不具合の部位等	リヤショックアブソーバ用台座の取付けボルトを締付ける際のトルク設定が不適切なため、規定トルクを超えて締付けたものがある。そのため、当該取付けボルトが破損し、最悪の場合、ショックアブソーバの機能を損なうおそれがある。			

1 4 . 届出者：三井物産株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月22日	外-1149	車 名：ハマー 型 式：不明 通称名：H2	14	平成15年8月15日
不具合の部位等	ブレーキ装置のブレーキ hidro ブーストモジュールの中にあるブレーキ hidro ブーストリリーフバルブの加工寸法が不適切なため、当該バルブのシールが破損するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該バルブから作動油が漏れ、最悪の場合、制動力が低下するとともに、ハンドルの操作力が増大するおそれがある。			

1 5 . 届出者：川崎重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月29日	1177	車 名：川崎等 型 式：65C4等 通称名：65ZV等	76	平成15年5月9日～ 平成16年6月23日
不具合の部位等	マフラー取付けブラケットの形状が不適切なため、当該ブラケットがエンジンの燃料パイプと接触しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、車両の振動等によりパイプが損傷して、最悪の場合、燃料が洩れて、火災に至る恐れがある。			

1 6 . 届出者：株式会社小松製作所

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月29日	1180	車 名：小松メック等 型 式：W063等 通称名：WA500-3等	24	平成14年10月21日～ 平成15年9月8日
不具合の部位等	カムフォロアーピンの強度が不足しているため、カムフォロアーピンを支持するレバー内部で、当該ピンに亀裂が発生することがある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行してカムフォロアーピンが折損し、バルブクリアランスが増大してエンジンのシリンダーヘッドから異音が発生し、最悪の場合、エンジンの破損に至るおそれがある。			

17. 届出者：三菱自動車工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月29日	1190	車名：三菱 型式：E-E12A 通称名：キャラン	16	平成5年6月30日～ 平成5年7月6日
不具合の部位等		車枠の組付け作業が不適切なため、クロスメンバーの剛性を向上させるステーが未装着のものがあ。そのため、そのままの状態で使用を続けると、クロスメンバーに亀裂が生じるおそれがある。		

18. 届出者：フォード・ジャパン・リミテッド

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月30日	外-1151	車名：フォード 型式：E-WFOFNG等 通称名：モンデオ	96	平成6年8月15日～ 平成11年4月28日
不具合の部位等		ホイールキャップ外径がスチールホイールの外径より若干大きいため、タイヤビード部に厚みがあるタイヤ（リムプロテクション付きタイヤ）を装着すると、ホイールキャップの円周端部がタイヤビード部に接触することがある。そのため、前輪に装着した場合、ハンドル操作によるタイヤビード部の擦れによりホイールキャップがずれ、ホイールキャップがタイヤエアバルブを倒し、最悪の場合、エアバルブの付け根に亀裂が生じ、短時間でエア漏れを起して、パンクするおそれがある。		

〔参考〕

平成16年7月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	52件	38件	14件
輸入車	13件	9件	4件
計	65件	47件	18件

対象台数の追加の届出については届出件数に含まれません。

（問い合わせ先）

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 森田、久手 電話 03-5253-8111（代表）（内線42352・42353）
--